

# 宮島口まちづくり国際コンペ



## 活動の目的

- 1 宮島口地区が世界の人々を迎えるにふさわしいまちとなるために、まちづくりのコンセプトや整備計画を策定するためのアイデアを世界中から募集された
- 2 広島県廿日市市では、入賞した提案を参考に、2015年度で基本構想、2016年度に整備計画をまとめる予定であった

## 連携にいたる経緯

10ha規模の都市デザインコンペが国内で募集されることは数少ない。建築・ランドスケープ・都市デザインの枠を越えなければ解決できない課題に対し、学生を交え取り組むことができるコンペティションに応募した。

## 活動内容

現地を訪れ、交通状況や干満差の調査を行い、国道2号線の渋滞や瀬戸内の特徴的な地形を感じる事が難しい等の問題が明らかとなった。その問題に対して、国道2号線をアンダーパス化することで、JR宮島口駅から新フェリーターミナルへの動線上での人と車の交差をなくし、渋滞やアクセスの不便さなどの交通問題を解決した。また、軸線となる厳島公園線には海水を引き込むことで、山と海の対比感を街の中で感じられるように計画した。設計することが求められていた市営駐車場と新広電駅舎以外にも、水産業の振興や係留権付き住宅を計画し、地域の素材を活かした提案とした。応募総数230件（国内外含め）の中で、8選に入賞し、2017年10月17日に「はつかいち文化ホール さくらびあ大ホール」において、最終プレゼンテーション及び審査を市民の前で行った。

## 活動の成果

- 1 独創的な提案であると同時に地域の活力に配慮した点が評価された
- 2 実務を行う建築家や都市計画コンサルタントと並んで審査を受け、大学としては唯一優秀賞（三案優秀賞で、最優秀賞相当）を受賞した

## ● 教員紹介



環境都市工学部 教授 木下 光(きのした ひかる)

モノ×ヒト=コトをコンセプトとして、香港・シンガポールを中心に公設市場・ストリートマーケット研究、アジアにおけるクールルーフ・ルーフスケープとしての瓦及び瓦建築の研究・開発、開かれた公共空間のデザインや管理運営、都市住宅における敷地計画・住環境形成、戦後日本の都市デザイン論などの研究を行っている。

## DATA

### ● 主な連携先・メンバー

広島県廿日市市／関西大学環境  
都市工学部 都市設計研究室

### ● 活動地域

広島県廿日市市宮島口1丁目

### ● 活動資金

なし



受賞作品の展示



プレゼンテーション風景



提案図面(A1-2枚)

## 今後の課題・目標

- 1 国内外を問わず、都市デザインのコンペに参加する
- 2 建築設計・都市デザイン・都市計画コンサルタントなど都市政策を空間化する研究室を目指す